

令和5年度 授業創造プラン

2年

教科	児童の実態（Gテストを含む）	具体的な取組【評価の観点】
国語科	- 文字を丁寧に書く意識が高い児童が多く、新出漢字の練習にも積極的に取り組む児童が多い。また、漢字の読み書きについては、ほとんどの児童ができていた。（Gテスト平均得点率 92%） - 物語文や説明文を読むときに、おおまかな内容については理解できるが、こまやかな内容や心情・場面の様子についての理解に差がある。（Gテスト平均得点率 83%） - 学習の内容に沿って、自分の思いを書くことが苦手である。（Gテスト平均得点率 55%）	- クロームブックのミライシード機能を使って、既習の漢字や言葉についての理解を深める。 - 季節や行事に合わせた読書活動や、担任による読み聞かせを行い、読みの幅を広げたり、感想を伝え合ったりする（おすすめの本を紹介する活動、音読発表も含む。）身近なことを表す語句を意識させ言葉遊びを取り入れていく。 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」の単元では、分かりやすい文を作るための構成の仕方を理解できるようにする。
算数科	- たし算やひき算の計算については、ほとんどの児童ができていた。（Gテスト平均得点率 95%）しかし、たし算の仕方の説明については、理解が不十分であった。（Gテスト平均得点率 68%） - 形作り、たし算、長さ比べについては、理解が不十分であった。（Gテスト平均得点率 77%） - 任意単位による長さの比較では、長さを比べることはできても、指定された2つのものについて与えられた形式で答えるのが難しかった。（Gテスト平均得点率 72%）	- クロームブックのミライシード機能を使って既習の計算についての理解を深める。 「たし算とひき算のひっ算」や「かけ算」の単元では、計算の仕方やその意味について説明やよりよい方法や根拠について考える力を付けていく。 「長方形と正方形」の単元では、形作りのパズルに取り組むことを通して、辺や頂点を意識し、図形の構成要素について理解できるようにする。 「はこの形」の単元では、辺や頂点を使って立体図形を組み立てることにより、図形の性質や構成要素について理解できるようにする。 「長いものの長さのたんい」の単元では、単位の意味について再確認し、既習のcmとmの関係について説明できるようにする。